



新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和2年9月3日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和2年9月29日(火)からオーダ開始します。

ストック薬の見直しを行っています

例年通り、9月9日(救急の日)から外来ストック・病棟ストックの見直しを行っています。

各診療科・病棟におかれましては、在庫薬品が効率よく管理できるよう、種類・数量の見直しにご協力ください。

「ミルリノン注 22.5 mg バッグ「タカタ」

自主回収及びオーダ一時停止のお知らせ

急性心不全治療剤「ミルリノン注22.5 mg バッグ「タカタ」」において、製造委託先の製造区域の環境モニタリングデータに不備があることが判明したことから、すべての製品が自主回収となり、出荷停止となりました。

これに伴い8月24日から処方オーダを一時停止致しました。

当該薬剤の代替薬として、8月25日より「ミルリノン注10 mg 「タカタ」」(10 mg/10 mLのアンブル製剤)のオーダを開始しました。

「キシロカイン注ポリアンプ0.5% 5 mL」自主回収のお知らせ

局所麻酔剤「キシロカイン注ポリアンプ0.5% 5 mL」において、一部のアンブルのネック上部に損傷および内液の減少が発生した事例が報告されたことから、同事象が発生する可能性のあるロットが自主回収となりました。

当院において対象ロット番号の製品はすでに使用済みですが、本件による健康被害の生じる可能性は極めて低く、現在までに本件に関する健康被害の報告はありません。

「マイテラーゼ錠10 mg」自主回収のお知らせ

重症筋無力症治療剤「マイテラーゼ錠10 mg」において、安定性モニタリングの溶出試験にて、承認規格を逸脱しているロットがあることが判明したため、当該ロットが自主回収となりました。

当院において対象ロット番号の製品はすでに使用済みですが、本件による健康被害の生じる可能性は極めて低く、現在までに本件に関する健康被害の報告はありません。

効能・効果、用法・用量追加のお知らせ

※追加・改訂部抜粋

◎イデルピオン静注用1000、2000(一般名:アルブレペノナコグ アルファ(遺伝子組換え))

＜遺伝子組換え血液凝固第Ⅸ因子アルブミン融合タンパク質製剤＞ ※臨時採用医薬品

【用法・用量】さらに、14日に1回投与し、6ヵ月以上状態が安定している12歳以上の患者では、体重1kg当たり100国際単位の21日に1回投与に変更することもできる。なお、いずれの投与間隔においても投与量は適宜調節するが、7日又は14日に1回投与の場合は1回体重1kg当たり75国際単位を、21日に1回投与の場合は1回体重1kg当たり100国際単位を超えないこと。

◎イミフィンジ点滴静注120 mg、500 mg(一般名:デュルバルマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒトPD-L1モノクローナル抗体)＞

【効能・効果】進展型小細胞肺癌

【用法・用量】白金系抗悪性腫瘍剤及びエトポシドとの併用において、通常、成人にはデュルバルマブ(遺伝子組換え)として、1回1,500mgを3週間間隔で4回、60分間以上かけて点滴静注する。その後、デュルバルマブ(遺伝子組換え)として、1回1,500mgを4週間間隔で60分間以上かけて点滴静注する。ただし、体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kg(体重)とする。

◎オクトレオチド酢酸塩皮下注50 μ g、100 μ g「サンド」(一般名:オクトレオチド酢酸塩)

＜視床下部ホルモン剤(持続性ソマトスタチンアナログ製剤)＞

【効能・効果】先天性高インスリン血症に伴う低血糖(他剤による治療で効果が不十分な場合)

【用法・用量】通常、オクトレオチドとして1日量5 μ g/kgを、3～4回に分けて皮下投与又は24時間持続皮下投与する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日量25 μ g/kgまでとする。

◎カドサイラ点滴静注用100 mg、160 mg(一般名:トラスツズマブ エムタンシン(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(抗HER2抗体チューブリン重合阻害剤複合体)＞

【効能・効果】HER2陽性の乳癌における術後薬物療法

【用法・用量】通常、成人にはトラスツズマブ エムタンシン(遺伝子組換え)として1回3.6mg/kg(体重)を3週間間隔で点滴静注する。ただし、術後薬物療法の場合には、投与回数は14回までとする。

◎キイトルーダ点滴静注100 mg(一般名:ペムブロリズマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(ヒト化抗ヒトPD-1モノクローナル抗体)＞

【効能・効果】がん化学療法後に増悪したPD-L1陽性の根治切除不能な進行・再発の食道扁平上皮癌

【用法・用量】通常、成人には、ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)として、1回200mgを3週間間隔又は1回400mgを6週間間隔で30分間かけて点滴静注する。

【効能・効果】切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫、がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌、がん化学療法後に増悪した進行・再発MSI-Highを有する固形癌(標準的な治療が困難な場合に限る)、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌

【用法・用量】通常、成人には、ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)として、1回200mgを3週間間隔又は1回400mgを6週間間隔で30分間かけて点滴静注する。

【効能・効果】根治切除不能又は転移性の腎細胞癌

【用法・用量】アキシチニブとの併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)として、1回200mgを3週間間隔又は1回400mgを6週間間隔で30分間かけて点滴静注する。

◎献血グロベニン-I 静注用5000 mg(一般名:乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)

＜血漿分画製剤(静注用人免疫グロブリン製剤)＞

【効能・効果】血清IgG2値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制(ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限る)

【用法・用量】人免疫グロブリンGとして初回は300mg(6mL)/kg体重、2回目以降は200mg(4mL)/kg体重を点滴静注する。投与間隔は、通常、4週間とする。

◎ベレキシブル錠80 mg(一般名:チラブルチニブ塩酸塩)＜抗悪性腫瘍剤(ブルトン型チロシンキナーゼ阻害剤)＞

【効能・効果】原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫

【用法・用量】通常、成人にはチラブルチニブとして1日1回480mgを空腹時に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

「酸化マグネシウム製剤」適正使用のお願い

酸化マグネシウム製剤の「高マグネシウム血症」については、2008年9月に重大な副作用に追記し、2015年10月より「適正使用のお願い」により注意喚起をしてきましたが、その後も「高マグネシウム血症」を発症し、重篤な転帰をたどる症例（死亡または死亡のおそれ）が報告されています。

つきましては、本剤の投与に際し、「高マグネシウム血症」の発症・重篤化防止並びに早期発見のため、以下の事項にご留意いただきますようお願いいたします。

- 酸化マグネシウム製剤により高マグネシウム血症が発症しやすいと考えられる方
 - ・本剤を長期間服用している患者
 - ・腎障害を有する患者
 - ・高齢の患者
 - ・便秘症の患者
- 「高マグネシウム血症」の発症・重篤化防止並びに早期発見のため、以下の点にご留意ください。
 - ・上記に掲げた患者には、定期的に血清マグネシウム値を測定するなど特にご注意ください。
 - ・漫然とした処方避け、必要最小限にとどめてください。
 - ※特に、便秘症の患者では、腎機能が正常な場合や通常用量以下の投与であっても、重篤な転帰をたどる例が報告されています。
 - ・患者に高マグネシウム血症の症状があらわれた場合には服用を中止し、直ちに医療機関を受診するようにご指導ください。
- 血清マグネシウム濃度と症状
 - ・血清マグネシウム濃度ごとの臨床症状を下表に示します。
 - ・酸化マグネシウム製剤を服用中の患者に以下のような症状があらわれた場合には、高マグネシウム血症の可能性を考慮し、適切な処置を行ってください。

血清 Mg 濃度 (mg/dL)	症状
4.9～	悪心・嘔吐、起立性低血圧、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠、全身倦怠感、無気力、腱反射の減弱など
6.1～12.2	ECG 異常 (PR、QT 延長) など
9.7～	腱反射消失、随意筋麻痺、嚥下障害、房室ブロック、低血圧など
18.2～	昏睡、呼吸筋麻痺、血圧低下、心停止など

改変引用：中村孝司. 日本医事新報 (3540) : 177 - 178 (1992)
木村琢磨. J I M 18 (11) : 942- 943 (2008)

院内副作用報告

院内において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
タグリッソ	間質性肺炎
ソル・メルコート	侵襲性肺アスペルギルス症

上記薬剤を使用する際には、副作用の発現にご注意ください。

包装変更等のお知らせ

◎アクトテムラ皮下注 162 mg オートインジェクター(一般名:トシリズマブ(遺伝子組換え))
<ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体>

キャップの色：緑色から紫色、リング：赤色に変更

「ロミプレート皮下注250 μ g調製用」オーダー一時停止のお知らせ

DI express 2020.6にてお知らせしました、造血刺激因子製剤「ロミプレート皮下注250 μ g調製用」(※臨時採用医薬品)において、想定を上回る需要増加に伴い安定供給が困難な状況となりました。

そのため、製薬企業より出荷を調整するとの報告があり、当院では6月17日より現在使用している患者に限定して処方可能とし、新規患者に対しては、当院採用の代替薬「レボレード錠12.5mg」による対応をお願いしておりました。

この度、全ての使用患者において代替薬「レボレード錠12.5mg」に切り替えが終了したため、8月28日より処方オーダーを全患者対象に一時停止しました。

供給再開時期につきましては、判明次第お知らせします。

「セロクエル」と「セロクラール」との販売名類似による取り違え注意のお願い

関連製薬会社より、以下の名称類似による取り違えの注意喚起情報が発出されました

「セロクエル(一般名:クエチアピンフマル酸塩):抗精神病剤」と「セロクラール(一般名:イフェンプロジル酒石酸塩):脳循環代謝改善薬」につきましては、販売名が類似していることから2012年10月に取り違えに関する注意喚起をさせていただきましたが、その後も処方オーダーシステムにおける両薬剤の選択ミスや調剤時の薬剤取り違え等が繰り返し発生し、2020年6月1日時点で25件の事例が日本医療機能評価機構ホームページへ掲載されております。

「セロクエル」または「セロクラール」を処方・調剤いただく際には、薬効および販売名を今一度ご確認いただきますようお願い申し上げます。

販売中止に伴うオーダー切替えのお知らせ

オーダー変更日	販売中止		切替え医薬品
2020.9.11	乳酸カルシウム水和物「ヨシダ」	→	乳酸カルシウム「ケンエー」
切り替え済み ※製剤原料用薬品	液状フェノール「東豊」	→	液状フェノール「ケンエー」

販売名変更のお知らせ

※在庫がなくなり次第、順次変更します。

変更前		変更後	旧販売名製品の経過措置満了日
パンテニール注100mg	→	パンテノール注100mg「KCC」	2021年3月31日

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 375

★異なるワクチンの接種間隔に係る添付文書の「使用上の注意」の改訂について

現在、ワクチンの添付文書では、異なるワクチンの接種間隔について、生ワクチンについては接種後27日以上、不活化ワクチンについては接種後 6 日以上の間隔をおくこととされている。

このたび、薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会の検討を踏まえ、その結果、異なるワクチンの接種間隔について、注射生ワクチンどうしを接種する場合は 27 日以上あける制限は維持しつつ、その他のワクチンの組み合わせについては制限を撤廃する添付文書の改訂を令和 2 年 10 月 1 日付けで行うこととなりましたので、その内容について紹介する。

★静脈栄養製剤及び肝不全用アミノ酸製剤における禁忌「重篤な腎障害のある患者」等の見直しについて

今般、国内外のガイドラインの記載状況、海外添付文書の記載状況、副作用報告・研究報告・措置報告の状況等に基づき、薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会で静脈栄養製剤及び肝不全用アミノ酸製剤における禁忌「重篤な腎障害のある患者」等の見直しの検討を行った。

その結果、令和 2 年 6 月 25 日、厚生労働省は、製造販売業者に対して、使用上の注意の記載を見直すよう指示したので、その内容等について紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介します。

◎イオパミドール(商品名:イオパミロン注300、イオパミロン注370シリンジ、オイパロミン300注シリンジ、 オイパロミン370注シリンジ)＜非イオン性尿路・血管造影剤＞

【重大な副作用】造影剤脳症：脳血管撮影、血管心臓撮影（肺動脈撮影を含む）、大動脈撮影において、本剤が脳血管外に漏出し、意識障害、麻痺、失語、皮質盲等の中樞神経症状があらわれることがあるので投与量は必要最小限とし、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。

※造影剤脳症関連症例 5 例（うち死亡 0 例）（平成 29 年 4 月～令和 2 年 2 月）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）から確認可能。

＜別紙＞新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計8品目)

2020年9月29日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	献血グェノグロブリンH10%静注 634	注	2.5g/25mL	特生	20165.0	日本血液製剤機構	Polyethylene Glycol Treated Human Normal Immunoglobulin 血漿分画製剤(液状・静注用免疫グロブリン製剤) ★献血ポリグロブリンN10%静注が将来的に製造中止されるため採用を検討 ※同一成分薬:献血グェノグロブリンH10%静注0.5g/5mL、10g/100mL、5g/50mLの3規格の常備医薬品採用あり 【発売:2018/6/26】
1	レムボレキソ 119	錠	5mg	-	90.8	エーザイ	Lemborexant 不眠症治療薬(オレキシン受容体拮抗剤) ★「睡眠障害の対応と治療ガイドライン第3版」では、オレキシン受容体拮抗薬はメトニ受容体作用薬と同様に、反跳性や退薬症候が認められず依存のリスクが低いとされている ★オレキシン1受容体及びオレキシン2受容体の両者に対し、競合的かつ可逆的拮抗作用を有する。 ★成人や高齢者での用量が同じであり、症状により10mgまで増量することが可能である ★CYP3Aを中等度または強力に阻害する薬剤との併用は患者の状態を慎重に観察したうえで2.5mgの使用が可能である 【発売:2020/7/6】
1	デュロルタミド 429	錠	300mg	劇 ハイリスク	2,311.0	ハイレ薬品	Darolutamide 抗悪性腫瘍剤(非ステロイド性抗アンドロゲン剤) ★遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌(M0CRPC)治療薬 ★一般的にM0CRPCは無症状で、治療期間が長期にわたることが多い疾患であるため、その治療薬には高い安全性が求められている ★従来の抗アンドロゲン剤と異なる特徴的な化学構造を有することにより、血液脳関門の透過性が低下すると考えられている 【発売:2020/5/26】
1	ロピニロール水素塩 116	外用	32mg	劇	947.2	協和キリン	Ropinirole Hydrochloride 経皮吸収型ドパミン作動性パーキンソン病治療剤 ★現在、本邦で承認されているパーキンソン病治療薬の多くは経口剤であるが、パーキンソン病患者では摂食・嚥下障害が存在するため、経皮吸収型剤剤の必要性は高いと考えられる ★パーキンソン病では自律神経症状として消化管障害が発生するが、経皮吸収型のドパミンアゴニストであれば薬物吸収過程において消化管障害の影響を受けないというメリットがある ★1日1回投与 ★テープ剤のため患者の家族や介護者が、使用状況を目視で確認することができる 【発売:2019/12/17】
1			8mg		400.2		
1	ベロルシズマブ硝子体内注射用 キット120mg/mL 131	注	120mg/mL	劇	142784.0	ノバルティスファーマ	Brolucizumab (Genetical Recombination) 加齢黄斑変性症治療薬(眼科用VEGF阻害剤) ★滲出型加齢黄斑変性症に対して視力改善が見込める唯一の治療法は、病因である脈絡膜新生血管の活動性を抑制し滲出病変を改善する抗VEGF療法である ★本剤はアイリアと比較して滲出病変への抑制力が強く、作用期間が長いいため、相対的に投与回数を減少させることができ、患者への通院・投与・費用の負担が軽減できると考えられる ※同適応を有する治療薬としてアイリアとルセンティスが常備医薬品として採用あり 【発売:2020/5/25】
1	メラトニン顆粒小児用0.2% 119	顆粒	0.2%	-	207.8/g	ノーベルファーマ	Melatonin 不眠症治療薬(メトニ受容体作動性入眠改善剤) ★小児期の神経発達症に伴う入眠困難の改善 ★メラトニンを有効成分とし、小児期の神経発達症に伴う入眠困難の改善効果を示す ★神経発達症は有病率が高く、睡眠障害を高率に合併するため、潜在的な対象患者数は多いと考えられる ★一方で、従来の睡眠薬は神経発達症をもつ患者に効果が乏しく、治療に難渋することが多かった ★同様の作用機序をもつ従来薬に、メトニ受容体アゴニストのラメルトン(ロセレム)があるが、成人適応しかない 【発売:2020/6/23】
1	リンウオック錠7.5mg 399	錠	7.5mg	劇	2550.9	アウエイ合同会社	Upadacitinib Hydrate 関節リウマチ治療薬(ヤヌキナーゼ(JAK)阻害剤) ★本剤はin vitroでの検討において、他のJAK阻害薬と比較してJAK1を強く阻害することが報告されている ★MTX効果不十分例のみならず、既存治療で効果不十分な症例やMTXを服用困難な症例に対して、単剤での治療選択肢として期待されている 【発売:2020/4/24】

⑤再生医療等製品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
5	ゾルゲンスマ点滴静注 490	注	5.5mL/Vと 8.3mL/Vの 組み合わせ	-	167077222 /患者	ノバルティスファーマ	onasemnogene abeparvovec ウイルスベクター製品 ★脊髄性筋萎縮症(SMA)に対する遺伝子治療 ★SMAの原因遺伝子であるヒト運動神経細胞生存(Survival Motor Neuron:SMN)タンパク質をコードする遺伝子を組み込んだ、野生型のアデノ随伴ウイルス9型(AAV9)を利用した遺伝子治療用ベクター製品 ★本剤による治療は、脊髄性筋萎縮症の根本原因である遺伝子の機能欠損を補う遺伝子補充療法で、1回の点滴静注で治療が完了する ★山口県内では、当院でしか本治療を行う予定はない 【発売:2020/5/20】

⑥臨時採用医薬品(合計2品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	クリスピータ皮下注 399	注	30mg	劇	911,812.0	協和キリン	Polycarboxophil Calcium くる病・骨軟化症治療薬(ヒト型抗FGF23モノクローナル抗体) ★世界初の線維芽細胞増殖因子23(FGF23)を標的とするヒト型 IgG1 モノクローナル抗体 ★本剤は、FGF23 に結合し、その過剰な作用を中和することで、腎臓でのリン再吸収を正常化し、血清リン濃度を上昇させる ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2019/12/6】
6	ブライオン 392	錠	500mg	-	90.2	日新製薬	Calcium Sodium Edate Hydrate 鉛解毒剤 ★重金属中毒の解毒に用いられるキレート剤 ★鉛などの重金属は本薬分子内に存在するCa と置換して水溶性金属キレートを形成して体外へ排出される ★EDTA製剤の経口剤は本剤のみ ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2009/10】

⑦院外専用医薬品(合計13品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	インテパンクリーム1% 264	外用	50g/本	-	5.7/g	日医工	Indometacin 外用鎮痛消炎剤 ★リンゴ酸錠7.5mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:1984/8/1】
7	イクセロンパッチ 119	外用	9mg	劇	355.3	ノバルティスファーマ	Rivastigmine アルツハイマー型認知症治療剤 ★ハルピテーフ32mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2011/7/19】
7	ジエミナ配合 248	錠	レボノルゲスト レル 0.09mg エチニルエストラ ジオール 0.02mg	-	314.0	ノーベルファーマ	Levonorgestrel/Ethinylestradiol 月経困難症治療剤 ★日本で初めてレボノルゲストレル(LNG)を含有する超低用量エストロゲン・プロゲステン配合剤 ★海外研究において、LNG含有製剤は血栓症リスクが低いと報告されている ★1剤で周期投与と連続投与の2通りの投与方法が選択可能 【発売:2018/10/4】
7	ストラテラ 117	cap	10mg	劇	241.8	日本イーライリリー	Atomoxetine Hydrochloride 注意欠陥/多動性障害治療剤(選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害剤) ★メトヘル顆粒小児用0.2%採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2009/6/19】
7	スマトリプタン「アスベン」 216	錠	50mg	劇	234.2	アスベンジャパン	Sumatriptan Succinate 片頭痛治療薬(5-HT1B/1D受容体作動型製剤) ★ハルピテーフ8mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2016/12/20】
7	ディナゲスト 249	錠	0.5mg	-	166.5	持田製薬	Dienogest 月経困難症治療剤 ★プロゲステロン受容体に対する選択性の高いプロゲステン経口剤である ★卵巣機能抑制作用(排卵抑制及びエストロゲン産生抑制作用)及び子宮内膜細胞増殖抑制作用があり、LEP製剤と同様の作用機序により月経困難症に対する疼痛改善効果が期待できる ★エストロゲンを含まないため、血栓リスクが少ないと考えられる ★LEP禁忌症例への使用が可能 【発売:2020/5/28】

7	デヒゲル1mg 247	外用	1mg	-	60.5	持田製薬	Estradiol 経皮吸収エストロゲン製剤 ★ティゲル錠0.5mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2007/11/20】
7	デヒゴ 119	錠	10mg	-	136.2	エーザイ	Lemborexant 不眠症治療薬(オレキシン受容体拮抗剤) ※デヒゴ錠5mgは常備医薬品として申請あり 【発売:2020/7/6】
7	フィコパ細粒 113	散	1%	-	1068.9/g	エーザイ	Perampanel Hydrate 抗てんかん剤 ★AMPA受容体に対して選択的かつ非競合的に結合することにより、グルタミン酸による神経の過剰興奮を直接抑制する ★4歳以上の小児への使用の適応を有する ※同成分薬:フィコパ錠2mg、4mgが常備医薬品として採用あり 【発売:2020/7/6】
7	フルティフォーム50エアゾール 229	吸入	120吸入用 フルチカゾンプロピオン酸エステル 50μg ホルモテロール fumarate マル酸塩水和物 5μg	-	5244.4	杏林製薬	Fluticasone Propionate / Formoterol Fumarate Hydrate 喘息治療配合剤 ★小児に使用できる吸入ステロイド+長時間作用型気管支拡張薬(エアゾール) 【発売:2014/12/1】
7	ユリス 394	錠	1mg	-	54.8	持田製薬	Dotinurad 高尿酸血症治療薬(選択的尿酸再吸収阻害薬) ★本剤は選択的尿酸再吸収阻害薬として腎臓での尿酸再吸収に関与するURAT1に対する選択性を高めた製剤 ★有害事象として肝機能障害の頻度が少ない 【発売:2020/5/25】
7	レキソタン細粒 112	散	1%	向	22.8/g	エーザイ	Bromazepam 精神神経用剤 ★デヒゴ錠5mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:1977/5/16】
7	ロケルマ懸濁用散分包 219	散	5g	-	1095.2	アストラゼネカ	Sodium Zirconium Cyclosilicate Hydrate 高カリウム血症改善剤 ★均一な微細孔構造を有する非ポリマー無機陽イオン交換化合物 ★無味無臭の白色粉末 ★水に懸濁後、経口投与 ★消化管内腔においてカリウムイオンを選択的に捕捉して糞中に排泄させ、消化管内腔におけるカリウム濃度を低下させる 【発売:2020/5/20】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計9品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
7	アムロジピンOD	錠	2.5mg	劇	ユリス錠1mg採用の場合、削除 ※後発品(アムロジピンOD錠2.5mg「サワイ」)が常備薬として採用あり
1	ウロマチックS泌尿器科用灌流液	外用	3%	-	ニューベコ錠300mg採用の場合、削除
7	オノン	cap	112.5mg	-	フルティフォーム50エアゾール120吸入用採用の場合、削除 ※後発品(ブランドカストカプセル112.5mg「科研」)が常備薬として採用あり
1	オヘリート0.5眼粘弾剤	注	1%	-	ヘオビュ硝子体内注射用キット120mg/mL採用の場合、削除
1	献血ホリゲロビンN10%静注	注	2.5g/25mL	特生	献血ウエグロプリンH10%静注2.5g/25mL採用の場合、削除
7	ピソルホン	吸入	0.2%	-	フィコパ細粒1%採用の場合、削除 ※後発品(プロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2%「タイヨー」)が常備薬として採用あり
7	マイルリー	錠	10mg	向	デヒゴ錠10mg採用の場合、削除 ※後発品(ソルピテム酒石酸塩錠10mg「明治」)が常備薬として採用あり
7	ラキソパロン内用液	内服	0.75%	-	ジェミナ配合錠採用の場合、削除 ※後発品(ピコスルファートナトリウム内用液0.75%「CHOS」)が常備薬として採用あり
7	リビートル	錠	5mg	-	ロケルマ懸濁用散分包5g採用の場合、削除 ※後発品(アトルバスタチン錠5mg「DSEP」)が常備薬として採用あり

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計14品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	イクセロンパッチ9mg	外用	9mg	劇	ハルロテープ32mg採用のため、区分7へ移行(2020年9月29日に移行)
1	インテハンクリーム	外用	1%	-	リンゴック錠7.5mg採用のため、区分7へ移行(2020年9月29日に移行)
1	カリ石ケン「ニッコウ」	外用	-	-	ヌーカラ皮下注用100mg採用のため、削除(2020年9月29日に削除)
9	クリスピータ皮下注	注	20mg	劇	使用しなくなったため削除(2020年9月29日に削除)
9	サイクロセリン「明治」	cap	250mg	-	使用しなくなったため削除(2020年9月29日に削除)

7	シグマート	錠	5mg	-	キャブヒリン配合錠採用のため、削除(2020年9月29日に削除) ※後発品(ニコザン錠5mg「トロー」)が常備薬として採用あり
1	ストラテラ	cap	10mg	劇	メトヘル顆粒小児用0.2%採用のため、区分7へ移行(2020年9月29日に移行)
1	スマトリブタン錠	錠	50mg	劇	ハルロビテープ8mg採用のため、区分7へ移行(2020年9月29日に移行)
1	ソルコセリル軟膏5%	外用	20g	-	オニバイト点滴静注43mg採用のため、削除(2020年9月29日に削除)
1	ディビゲル	外用	1mg	-	ディナゲスト錠0.5mg採用のため、区分7へ移行(2020年9月29日に移行)
1	レグハラ	錠	25mg	-	オルグデア錠2mg採用のため、削除(2020年9月29日に削除)
7	ワイパックス	錠	0.5mg	-	ラツータ錠40mg採用のため、削除(2020年9月29日に削除) ※後発品(ロゼハム錠0.5mg「サワイ」)が常備薬として採用あり
9	リサイオ点滴静注	注	100mg	劇 ハイリスク	使用しなくなったため削除(2020年9月29日に削除)
1	レキソタン細粒	散	1%	向	デヒゴ錠5mg採用のため、区分7へ移行(2020年9月29日に移行)

【4】報告事項

1)緊急購入薬の薬剤部長承認について

⑨緊急購入医薬品(合計7品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
9	ブライアン 616	錠	500mg	-	90.2	日新製薬	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
9	デファイテロ静注 391	注	200mg	-	54,091.0	日本新薬	Defibrotide Sodium 肝類洞閉塞症候群治療剤 ★肝中心静脈閉塞症は致死率の高い重篤な合併症であるが、これまで有効な治療薬が国内にはなかった ★肝中心静脈閉塞症に対する国内唯一の適応症のある治療薬 【発売:2019/9/4】
9	アルケラン 421	錠	2mg	毒 ハイリスク	170.0	アスペンジャパン	Melphalan 抗悪性腫瘍剤(多発性骨髄腫治療薬) ★非移植適応の多発性骨髄腫に対して、D-MPB療法が1stラインのレジメンとして保険承認されている ★初回治療導入を入院下で行う必要あり ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:1979/5/15】
9	一般診断用精製ツベルクリン(PPD)1人用 639	注	-	劇	1,215.0	日本ビーシーシー製造	Purifild Tuberculin(Minimum Requirements for Biological Products) 精製ツベルクリン ★結核既感染者およびBCGワクチン既接種者に対して特異的な皮膚反応を惹起する 【発売:1992/11】
9	ツムラ竹じよ温胆湯エキス顆粒(医療用) 520	顆粒	2.5g/包	-	29.1/g	ツムラ	漢方製剤 ★術後の不眠に対し使用 【発売:1986/10/30】
9	ヘレキシブル 429	錠	80mg	劇 ハイリスク	5,067.4	小野薬品工業	Tirabrutinib Hydrochloride 抗悪性腫瘍剤(フルトン型チロシンキナーゼ阻害剤) ★標準治療が確立されていない再発又は難治性の中枢神経系原発性脳腫瘍(PCNSL)を効能又は効果として、世界で初めて承認されたフルトン型チロシンキナーゼ阻害剤である ★1日1回空腹時経口投与 【発売:2020/5/20】
9	ノキサフィル 617	錠	100mg	劇	3,109.1	MSD	Posaconazole 深在性真菌症治療剤(アゾール系抗真菌薬) ★新規アゾール系抗真菌薬 ★急性白血病の寛解導入療法や地固め療法では好中球減少が蔓延し、アスペルギルス症合併のリスクが高くなり、時に致命的な経過をたどることがあるが、これまで予防的に保険承認された薬剤がなかった ★造血幹細胞移植患者又は好中球減少が予測される血液悪性腫瘍患者における深在性真菌症の予防の適応を持つ薬剤 【発売:2020/4/24】

※緊急購入医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)販売中止に伴う代替医薬品の採用について

現在	切替薬
液状フェノール「東豊」500mL(1.31円/mL)	液状フェノール「ケンエー」500mL(1.31円/mL) ※切り替え済み(製剤原料用薬品)
乳酸カルシウム水和物「ヨシダ」(3.84円/g) ※分包品が販売中止のため	乳酸カルシウム「ケンエー」(3.84円/g) ※2020年9月11日に切り替え予定

3) 供給停止に伴う代替薬の一時採用について

現在		代替薬(一時採用)	
ハリゾンシロップ100mg/mL(54.6円/mL)	→	ファンギゾンシロップ100mg/mL(54.6円/mL)	※2020年7月31日切り替え済み
オザペン/バッグ注80mg(1068円) ※200mL/バッグ製剤	→	オザグレルNa点滴静注80mg「タカタ」(784円) ※4mL/バイアル製剤	※2020年7月31日切り替え済み
ドブトレックス点滴静注用600mg(4222円) ※200mL/バッグ製剤	→	ドブボン注0.3%シリンジ(634円) ※50mLシリンジ製剤(「心エコー図検査における負荷」の適応なし)	※2020年8月4日切り替え済み
シプロキサシ注400mg(2110円) ※200mL/バッグ製剤	→	シプロフロキサシン点滴静注400mg/200mL「明治」(1097円) ※200mL/バッグ製剤	※2020年8月5日切り替え済み
ミルリノン注22.5mg/バッグ「タカタ」(3107円) ※150mL/バッグ製剤	→	ミルリノン注10mg「タカタ」(1652円) ※10mLアンプル製剤	※2020年8月25日切り替え済み

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:緊急購入医薬品)